訓子府小学校後期学校評価まとめ

後期学校評価を生かして ～令和７年度に向けて～

１２月９日（月）～２０日（金）まで、後期の学校評価を実施しました。保護者アンケートの回収率は約４０％でした。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

学校評価結果より №１ ～前期との結果比較～

学校では、前期と後期の結果を比較したり、子ども・保護者・教職員、三者を比較したりすることで、これまでの取組・指導等が子どもたちにどう響いてきたか、保護者の皆様に理解していただけているのか、来年度に向けて検討し、改善します。保護者の皆さんにも、結果や分析・改善計画をご覧いただき、子ども・保護者・学校の意識を合わせ、一体となって教育活動をすすめていけるようにと考えています。

※回答は、Ａ（十分）・Ｂ（ほぼ十分）・Ｃ（やや不十分）・Ｄ（不十分）・Ｅ（該当なし）のいずれかにつけていただきました。
※右欄の数字は、それぞれの項目の、肯定的な回答、Ａ（十分）・Ｂ（ほぼ十分）を百分率で表しました。小数点以下四捨五入しています。

※　青は前期から向上した内容です。

	アンケート内容（回答者により文言や聞き方を変えています。）	前期			後期		
		子ども(%)	保護者(%)	教職員(%)	子ども(%)	保護者(%)	教職員(%)
1	学校に楽しく通うことについて	80	99	85	85	88	96
2	温かな言葉遣いや相手の気持ちや立場を考えて行動する力について	81	72	87	87	78	96
3	友達関係に満足しているかどうか	84	94	90	91	87	84
4	学校の授業で、勉強がわかったり、できたりしているか	87	80	77	89	72	86
5	毎日、家庭学習に取り組んでいるか	48	41	31	58	55	80
6	タブレットを使っての学習について	88	60	46	89	60	77
7	授業中、自分から進んで問題や課題に取り組んでいるか	76	81	67	78	69	73
8	自分で考え、判断し、行動する力がついているか	80	72	81	86	71	79
9	仲間と協力して取り組む力がついていると思うか	89	90	82	94	91	95
10	失敗をおそれずに新しいことに取り組むことができているか	75	66	92	84	62	87
11	自分の考えを伝える力がついていると思うか	60	68	86	71	70	82
12	友達と適切なコミュニケーションをとる力がついているか	86	86	68	96	82	77
13	日常的に体を動かして（体を動かす遊び、手伝い、徒歩）いるか	86	81	67	89	73	79
14	いじめ未然防止や早期発見など、いじめ問題に適切に対応しているか	96	79	91	97	86	96
15	地域に根付いた学習をすすめていると思うか	85	97	57	88	91	55

前期と後期の結果や三者の結果を比較することで、見えてくることや考えなければならない課題も浮かび上がってきます。子ども・保護者・学校の意識の差を埋め、一体となって訓子府町の宝である子どもたちを育てていくことができるように皆様の声を聞いたり、学校のスタンスや取組を伝えたりしていきたいと思います。

前期学校評価結果より №２ ～成果と課題～

項目ごとの数値と記述意見、考察です。

１．学校に楽しく通うことについて

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	８０	９９	８５
後期	８５	８８	９６

〈記述意見より〉（保護者）
いつも大変お世話になっております。学級通信なども分かりやすく、いつも楽しく読ませていただいています。先生方のお陰で授業も含めて学校とても楽しいようです。

【考察】 前期の評価結果を受け、教職員が今まで以上に、子どもにとって学校が楽しい場になるように努めたところ、子ども達の評価が上がったと考えます。引き続き、全ての児童が、学校に来ることを楽しみにできるように、全職員で支えていきます。困ったこと等お気軽に相談して下さい。

２．温かな言葉遣いや相手の気持ちや立場を考えて行動する力について

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	８１	７２	８７
後期	８７	７８	９６

【考察】 前期結果から課題とし、子ども達に温かな言葉遣いが身に付くように、学校と家庭で連携して取り組んできました。道徳授業を中心に学校教育全体で指導したり、懇談会で意見交流したりすることで、三者とも大きく向上しました。下記３の友だち関係に満足している児童が増えたことにもつながっているように感じます。

３．友達関係に満足しているかどうか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	８４	９４	９０
後期	９１	８７	８４

【考察】 子ども達の評価が上がったことが何よりです。子ども達にとって友達関係は大変重要です。これからも不安がある子一人一人に対して、寄り添い指導支援を続けています。今後も一体となって子ども達の関係を見守り、共通して必要な指導支援をしていきましょう。

４．学校の授業で、勉強がわかったり、できたりしているか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	８７	８０	７７
後期	８９	７２	８６

【考察】 教職員が「わかる」「できる」楽しい授業を目指した結果、子ども達の評価もさらにあがりました。職員の授業改善の取り組みが子ども達にも伝わりうれしい限りです。引き続き、全ての児童に学年で身につけるべき学習内容を定着させていきます。

5．毎日、家庭で学習に取り組んでいるか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	４８	４１	３１
後期	５８	５５	８０

【考察】　後期の重点のひとつです。子どもが自ら学ぶ習慣を身につけ、少しでも家庭で学習に向かえることを目標に、家庭での学習時間や内容等を把握しながら、家庭学習の習慣化に向けて全学級で取り組んできました。ご家庭での励ましの声かけ等のご協力もあり、３者とも評価が１０%以上向上しました。家庭での学習の習慣化は、中学生や高校生になっても大切なことです。年明けも引き続き、全ての子が、少しずつ確実に、家庭での学習を習慣化できるように進めて参ります。ご理解ご協力、よろしくお願い致します。

6．タブレットを使っての学習について

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	８８	６０	４６
後期	８９	６０	７７

【考察】　子ども達は、学校でのタブレットを使った学習が充実していることを実感しています。教職員も効果的に活用をすすめています。保護者の皆様にもタブレットがより一層学習の道具として、十分な活用が図られていることを実感してもらえるよう方策を講じます。

7．授業中、自分から進んで問題や課題に取り組んでいるか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	７６	８１	６７
後期	７８	６９	７３

【考察】　引き続き、「教師が教える授業」から「子どもが学ぶ」授業への転換を図っていきます。

8．自分で考え、判断し、行動する力がついているか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	８０	７２	８１
後期	８６	７１	７９

【考察】　子どもが力を付けたことを実感していることが素晴らしいです。引き続き、全教育活動を通して、子どもが自分で考え、判断し、行動する場を意図的に創出し、指導・支援していきます。

9．仲間と協力して取り組む力がついていると思うか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	８９	９０	８２
後期	９４	９１	９５

【考察】　３者とも、高評価です。学校で行っている協働的な学習はもちろん、地域や部活・少年団活動で培われているように感じています。引き続きみんなでがんばりましょう。

１０．失敗をおそれずに新しいことに取り組むことができているか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	７５	６６	９２
後期	８４	６２	８７

【考察】　教職員が物事に挑戦する態度や意欲への価値づけを十分行ってきました。その成果が子どもの肯定的な回答の向上につながりました。引き続き、子どもの挑戦を大切にしていきましょう。

１１．自分の考えを伝える力がついていると思うか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	６０	６８	８６
後期	８４	６２	８７

【考察】　教職員は授業で児童に考えをもたせ、表出する機会を意図的に設定してきました。その結果、子どもの評価が２４％向上しました。引き続き、子どもの自分の考えを伝える力を育成していきます。

１２．友達と適切なコミュニケーションをとる力がついているか

令和６年度			
	子ども	保護者	教職員
前期	８６	８６	６８
後期	９６	８２	７７

〈記述意見より〉（保護者）
　難しい年頃の生徒を毎日相手に、先生には本当に頭が下がります。いつもありがとうございます。

【考察】　上記１１とも関係がありそうですが、子ども・教職員の評価が各１０％程度向上しました。学校で協働的に学び合っている成果を感じています。お互いを尊重し協働しながら物事をつくりあげることはこれからも重要なことです。その基礎となる「伝える力」を身につけさせるために教育活動すべてにおいて引き続き、重点的に指導していきます。

１３．日常的に体を動かして（体を動かす遊び、手伝い、徒歩）いるか

	令和６年度		
	子ども	保護者	教職員
前期	８６	８１	６７
後期	８９	７３	７９

【考察】　訓子府小の子ども達は、休み時間になるとグラウンドや体育館で元気に走り回る子が多いです。少年団に加入している子も多いです。また、どの学年の体育授業でも、場の設定を工夫するなど運動量が確保されています。

１４．いじめ未然防止や早期発見など、いじめ問題に適切に対応しているか

	令和６年度		
	子ども	保護者	教職員
前期	９６	７９	９１
後期	９７	８６	９６

〈記述意見より〉（保護者）
　個別的な相談、対応、連携に携わっていただけているのでこれからもお力添えをお願いいたします。

【考察】　保護者の評価が向上し、たいへん励みになります。しかし、いじめ問題は、相談しにくいことが多く表面化しにくい問題です。未然防止、早期発見には、保護者・地域・学校の連携が欠かせません。引き続き、「いじめの見逃し０」となるよう、ご家庭等で気になるお子さんの様子がありましたら、ささいなことでも学校までご相談ください。

１５．地域に根付いた学習をすすめていると思うか

	令和６年度		
	子ども	保護者	教職員
前期	８５	９７	５７
後期	８８	９１	５５

【考察】　地域の皆様のお陰で、地域素材を題材にした探究学習が充実・継続されています。さらに取組の改善を図り、地域に根ざした人材の育成のために、学校に与えられた役割を果たしていきます。教職員の評価が低いのは、活動のマンネリ化を打破したいという気持ちの表れと考えます。

前期学校評価結果より　No.３　　～保護者からの記述意見と回答～

「いつもお世話になっております。」「子供に色々とご指導いただき感謝しております。」「これからもお力添えをお願いいたします。」「満足しています。」等々、お褒めや励ましのご意見をいただきました。いただいたご意見を大切に、信頼される学校になるよう、引き続き職員一同取り組んで参ります。

　個人が特定されるようなご意見は、ここには記載しません。しかし、ひとつひとつのご意見・ご要望に対し、関係する学年団を中心に共有し、子ども達１人１人が心地よく学校生活を送ったり、自分の力を最大限に伸ばしたりできるようにしていきます。

【記述意見】　◇春夏冬休み、（有料）でゆめゆめにも給食出して欲しい。
【回答】　学校だけでは解決できない問題です。要望があったことを関係機関と共有します。

前期学校評価結果より №.４　～児童からの記述意見と回答～

【記述意見１】　トイレの便座を暖かくして欲しい。トイレをきれいに（匂いをなく）して欲しい。
【回答】　たくさんのお金がかかることなので、すぐにはすすみません。日頃から大切に使いトイレ掃除などで少しでもきれいになるようにしていきましょう。

【記述意見２】　トイレのカギをもう少し強めたり、確実に開閉できるようにしたりして欲しい。
【回答】　トイレのカギを子どもの力で、確実に開閉できるように修繕していきます。

【記述意見３】　遊具（ブランコ等）を増やして欲しい。
【回答】　安全安心を第一に、町や学校の予算等に合わせて検討していきます。

【記述意見４】　体育館のボール使用の日を増やしてほしい。あまり体育館を使っていない学年の分を、よく使う学年に割り振ってほしいと思った。
【回答】　児童委員会や担当の先生を中心に話し合っていきます。

【記述意見５】　◇給食の時間を長くして欲しい。
◇給食は食堂で食べたい。
【回答】　学年や児童の実態に合わせますが、どこの学級でも確実に２０分間は給食を食べる時間になるようにしていきます。
給食を食堂で食べるメリット、デメリットがあります。メリット、デメリットを考え、給食の目的を達成できるように検討していきます。

【記述意見６】　◇５時間授業を増やして欲しい。
◇休み時間を（１０分ぐらい）増やして欲しい。
◇１回の勉強時間を３分ぐらい減らして欲しい。
◇体育を増やして欲しい。
◇国語や算数のテストを難しくして欲しい。
【回答】　国で定められた基準に合わせ、訓子府小の子どもや地域の実態に合わせて設定します。

【記述意見７】　放課後バス待ち等関係なく、グラウンドで遊びたい。
【回答】　用事がない場合は、すぐに下校するきまりになっています。教職員が子どもの様子を見ることができず、安全安心に過ごすことが難しくなります。子ども達の安全管理のためのきまりですので、ご理解・ご協力をお願いします。

　保護者や児童の皆様から多数ご意見をいただきました。評価項目にかかわることを中心に掲載させていただいたこと、どうかご了承ください。個人が特定される内容等も掲載していません。児童からの要望で個人間での出来事等、生徒指導上の課題については、解決に向けて早急に対応しています。
　今後も引き続き、日常的にコミュニケーションを取り、疑問や要望等、遠慮なく学校に伝えていただきたいと思います。
　これからもより良い学校になるよう、皆で知恵を出し合いすすんでいきましょう。